

松山猛が語る

世界最古のダイヤモンドメゾン バックス&ストラウスを腕にする贅沢

いつかは手に入れたいダイヤモンドウォッチ。クラシックなスタイルを愛するならばやはり由緒正しいものを選びたい。英国で長い歴史をもち、フランクミュラーと協業するバックス&ストラウスが間違いない。

錚々たるジュエラーに
ダイヤモンドを供給

古くからダイヤモンドは、何よりも珍く、そして美しく輝く宝石であることが知られてきた。

インドのゴルコンダという地方などで発見されたその特別な輝きをもつ宝石は、やがてローマ帝国などにも、その美しさや、何にも勝る価値が知られることになった。

ダイヤモンドはダイヤモンドしか輝くことができない。なぜならダイヤモンドは、我々が手に入れることができない物質の中で、最も硬い性質をもっているからだ。

伝説によると15世紀のヨーロッパ、ベルギーのルドウィック・ヴァン・ベルケムという人物が、現代に通ずるダイヤモンド研削法を確立したといわれている。バックス&ストラウスは、世界のタ

BERKELEY

パークレー

ロンドンの中央部メイフェアの中心に位置する、歴史的な魅力に溢れる公園の一つパークレー・スクエア。その八角形の形状をイメージしたパークレーコレクションは、この公園にあるロンドンで最も古い味々であるプラタナスが植えられた1789年が、バックス&ストラウスの創業年と同じという話もつ。自動巻き、径40mm、18Kホワイトゴールド、シリケートストラップ、740万円

2列にセットされた
ダイヤモンドが上品



200年を超える歴史をもつダイヤモンドのバックス&ストラウスに贈られている特別仕様「ダイヤモンド」。左写真は、英国各メーカーは、他にもカルティエやシャネルをはじめとする高級ジュエラーや、様々な顧客の名が記されている。

REGENT

リージェント

建築家ジョン・ナッシュにより整備された、リージェント・パーク。リージェント・ストリート、セント・ジューズ・パークに置かれるクラシカルな調子をイメージした利権のリージェント。柔らかな機種のカーブに並ぶダイヤモンドが美しい。エンブレブが施されたムーブメントを精巧なデザインのドレッシーモデル。手巻き。47×40mm、18K金ケース。アリゲーターストラップ。520万円

クラシックが際立つ
ラウンドモデル

調和の取れたカーブが
美しいエレガントモデル



PICCADILLY

ピカデリー

ロンドンの中心である、ジョン・ナッシュの手によるピカデリー・サーカス。この対称的な美点をイメージしたピカデリーコレクション。アラビア数字インデックスのタイプもあるが、この薄型モデルは12時位置にローマ数字を採用し、よりエレガントにムーブメントが見えるようにバックスクルトにもなっている。手巻き。54mm、18K金ケース。アリゲーターストラップ。485万円



バック & ストラウスすべてのダイヤモンドに採用される「理想のカット」の「アート&アロー」。上層から83°の欠けに、底層からは57°のワットに光が輝く。

何よりも光が輝く、永遠の象徴が時を刻む。最高の装飾と美しい織りなす夢の物語に耳を傾けたいものだ。

光の反射のドラマだ。

文／松山猛

そのダイヤモンド界の王者が、時計界の王者「ラウルクム・ムラー」と出会うのは、必然のことだったのかも知れない。そして驚いませぬ両者の文化から、素晴らしい時計コレクションが誕生することだ。

バック & ストラウスは、時計界の王者「ラウルクム・ムラー」と出会うのは、必然のことだったのかも知れない。そして驚いませぬ両者の文化から、素晴らしい時計コレクションが誕生することだ。

ダイヤモンドの専門地である彼らが、原石のカットし、最高の技術で研磨したものを、ティファニーやカルティエなどの、輝々たるジュエラリーに供給していることが、台帳に記されている。